

石見銀山遺跡 世界文化遺産登録8周年記念

三 銀山絵巻展

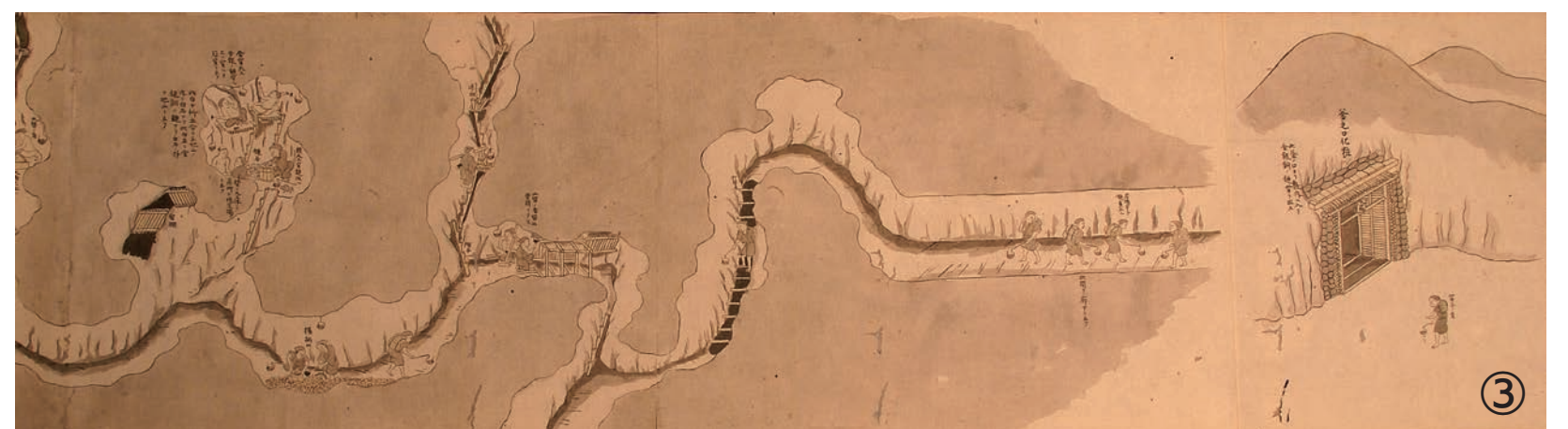
～石見銀山と佐渡金銀山を比較してみたら～

石見銀山遺跡は、2007年に世界文化遺産に登録されて、今年で8周年を迎えます。一方、佐渡金銀山は新潟県佐渡島内の相川を中心にした金銀山の総称、こちらも日本を代表する鉱山遺跡です。地元では石見に続けと世界文化遺産登録を目指していま奮闘されています。

さて、双方の鉱山には江戸時代以来、鉱山技術や経営などの様子を描いた絵巻物が伝えられてきました。面白いことに両者にはよく似たところや違うところがあります。小さなケースの中のほんの一部ですが、この機会に双方の絵巻を見比べながら、共通点や相違点を確認していただけたら幸いです。

ここに注目、3つのポイント!!

Point.1 鉱山の地下と言え、鉱石を求めて掘り進んでいった坑道の様子。双方、その形が似ていると思いませんか？それに鉱夫の人数や格好まで同じではありませんか。両絵巻は、一方が他方を真似た関係にあるのです。



Point.2 描き方が同じようでも、両鉱山には違いがあります。採掘時の明り取りや排水作業の用具に注目してみてください。佐渡では釣^{つり}ともし(灯明皿)や水上輪が、石見ではサザエの殻^{から}や角樋と呼ばれるポンプが使用されています。



Point.3 展示品の一つに、初公開の「石見銀山絵巻」があります。彩色や紙質から、一見して新しいものと分かるでしょう。一部に改変がありますが、地元大森に住みながら文化財の保護に努めるなど、石見銀山を愛した人が描きました。

展示期間：平成27年7月7日(火)～8月9日(日)

会期中の休館日：7月21日 展示場所：当館・常設展示(石見銀山)コーナー。常設展料金で見られます。

展示品名：絵巻4点

- ①大森銀山図解・上巻(個人所蔵)江戸時代 ②石見銀山絵巻・上巻(個人所蔵)現代
③佐渡金銀山採製全図(当館所蔵)明治時代 ④佐渡金山之図(当館所蔵)江戸時代